

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シェルパ(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 29日		~ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		~ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 26
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様アンケートにおいて、「こどもの理解」「支援への満足度」「安心感」等の主要項目で、回答者全員から肯定的(「はい」)な評価を頂いております。	親子通所としていることで、お子さんの理解を深めていけるように努めています。また、保護者の方とのコミュニケーションをとれるようには考えています。	現状の評価に甘んじることなく、職員研修を継続して専門性を高めます。また、保護者様からのご相談に対して、より具体的に専門的なアドバイスができるようにしていきたいです。
2	「計画がニーズに合っているか」「計画通り支援されているか」の項目で、保護者様から非常に高い評価を頂いています。お子様一人ひとりに合わせた支援計画を作成していきます。	アセスメント(課題分析)を丁寧に行い、職員間で共有した上で計画を作成しています。また、活動プログラムが固定化しないようには心がけています。	今後は、お子様自身の「やってみよう」という意向をより計画に反映させる工夫を行います。お子様が主体的に選択できる場面を増やし、自己決定力を育む支援を目指します。
3	各種マニュアルの整備や災害時を想定したBCP(業務継続計画)の策定、定期的な訓練実施について、自己評価でも満点の評価となっています。	「事故防止」「感染症」「非常災害」等のマニュアルを完備し、定期的な避難・救出訓練を行っています。	現状の訓練に加え、週1回の利用など頻度が少ないお子様も含め、全員がいざという時に落ち着いて行動できるよう、訓練の実施方法や避難誘導の工夫を重ねていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子通所としていることで、送迎の負担をかけており、お仕事によっては非常に利用のしにくい状況がある。	親子通所での支援にこだわっている。	一部送迎を検討していくなど、少し柔軟な対応も検討はしていてもいいかもしれない。
2	機能的で清潔ではあるものの、「殺風景」とのご意見や、お子様にとって空間の使い分け(構造化)が分かりにくい部分があるなど、環境づくりに改善の余地があります。	シンプルさと、玩具を出した際に賑やかになりすぎないようにしている。構造化についてはわかりやすさを常に考えていきたい	未就学児と小学生のバランスを考えた、また部屋の利用の仕方によっても変わってくるが、シンプルさは崩さない程度に検討していきたい
3	父母の会の活動の支援や、保護者会との開催など、交流の機会の提供ができていない	保護者の交流の機会の要望を感じ取れていない。	要望に応じて取り組みも検討していきたい。また地域の既存の会の状況なども確認をしていきたい